

キャリア教育単元計画

福山市立新市小学校

学年	第3学年	教科等	算数	単元名	長さ			
連携企業等		土地家屋調査士		単元時数	全8時間			
単元のルーブリック	評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現	主体性			
	資質・能力			自己表現力	チャレンジ&チェンジする力			
	A	長さの単位(km)や「1km=1000m」という関係について理解するとともに、測定するものに応じておよその見当をつけて適切な長さの単位や計器を選び、活用課題においても、既習の知識・技能を用いて長さを測定したり表したりすることができる。	既習の長さの単位との関係に着目して1kmの長さをとらえ、活用的な課題においても、測定するものや目的に応じた単位や計器を用いて、長さを的確に表現したり比べたりすることを、筋道立てて説明している。	活用的な課題においても、長い長さを数値に表したり、巻き尺を用いて曲線部分の長さを測定したりしたことを振り返り、困難性の高い課題に対しても粘り強く、見直しをもって取り組もうとしている。また、およその見当をつけて効率的に長さを測定するよさに気づき、生活や今後の学習に意欲的に活用しようとしている。				
	B	長さの単位(km)や「1km=1000m」という関係について理解するとともに、測定するものに応じておよその見当をつけて適切な長さの単位や計器を選び、長さを測定したり表したりすることができる。	既習の長さの単位との関係に着目して1kmの長さをとらえ、測定するものや目的に応じた単位や計器を用いて、長さを的確に表現したり比べたりしている。	長い長さを数値に表したり、巻き尺を用いて曲線部分の長さを測定したりしたことを振り返り、およその見当をつけて効率的に長さを測定するよさに気づき、生活や今後の学習に活用しようとしている。				
C	長さの単位(km)や「1km=1000m」という関係について理解するとともに、測定するものに応じておよその見当をつけて適切な長さの単位や計器を選び、長さを測定したり表したりすることができない。	既習の長さの単位との関係に着目して1kmの長さをとらえ、測定するものや目的に応じた単位や計器を用いて、長さを的確に表現したり比べたりすることができない。	長い長さを数値に表したり、巻き尺を用いて曲線部分の長さを測定したりしたことを振り返ることができず、およその見当をつけて効率的に長さを測定するよさに気づき、生活や今後の学習に活用しようすることができない。					
次	時	学習活動	留意事項	○評価の観点 理・表・字は重点 知 思 主			評価方法	他教科等関連、 企業連携等
1	1	・1kmの道のりを歩くなどの活動を通して、長さを実感的にとらえ、長さの豊かな感覚を持っている。	・およその見当をつけたり、長さを効率的に測定したりすることに關心をもたせる。			○	ノート 発言 行動観察	
	2	・巻き尺のしくみや長さをはかる方法を理解し、長さの感覚を持つ。	・巻き尺のしくみや長さをはかる方法を、実際の巻尺で測る活動を通して理解することができるようにする。	○			ノート 発言	
	3	・巻き尺を使って、まるいものや身の回りのものの長さを測定することができる。	・身の回りのものの長さに関心をもたせ、巻き尺を使って測定することができるようにする。	○			ノート 発言	
	4	・道のり、きよりの意味や長さの単位「km」を理解し、「km」を用いて長さを表すことができる。	・絵地図を用いて、道のりや距離を、長さの単位「km」を用いて表すようにする。		表 ○		ノート 発言	
	5	・1kmの道のりを歩いたり、スポーツの世界記録を調べたりすることを通して、長さの感覚を持つ。	・1kmの道のりを歩くなどの活動を通して、長さを実感的にとらえ、長さの豊かな感覚を持つことができるようにする。	○			ノート 発言	
2	6 7	・測量士の方から仕事上の距離測定について話を聞くとともに、平板測量体験や紙飛行機の飛行距離の距離測定を巻き尺を用いて行う。	・平板測量体験や紙飛行機の飛行距離の距離測定という活動を位置付け、既習の知識・技能等を用いて、巻き尺を用いて意欲的に測定することができるようにする。			チ ○	発言 行動観察	出前授業(藤本 合同事務所)
3	8	・学習内容の定着状況の確認をする。	・学習内容に関して理解したり、思考・判断・表現したりすることができる。	○	○		評価テスト	

